

令和8年度予算案のEBPM「地域子ども・子育て支援に必要な経費」

課題データ

「地域で子育てを支えるために重要なこと」として「子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場があること」を挙げる人は約52%に上り、地域でも保護者の不安や悩みを相談できる機会を設け、すべての子育て家庭が安心して子育てできる環境を整備する必要がある。
(※出所：文部科学省「令和2年度「家庭教育の総合的推進に関する調査研究～家庭教育支援の充実に向けた保護者の意識に関する実態把握調査～」)

事業

(7) 乳児家庭全戸訪問事業

令和8年度当初予算案：2,231億円の内数

生後4ヶ月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育てに関する情報の提供並びに乳児及びその保護者の心身の状況及び養育環境の把握を行うほか、養育についての相談に応じ、助言その他の援助を行うことを目的とし、以下の支援を行う。

- ①育児に関する不安や悩みの傾聴・相談、
- ②子育て支援に関する情報提供、
- ③乳児及びその保護者の心身の様子及び養育環境の把握、
- ④支援が必要な家庭に対する提供サービスの検討、関係機関との連絡調整

※アウトプット、アウトカムの（）内は直近の実績値

アウトプット

乳児家庭全戸訪問事業において交付を決定した市町村数
2025年度 1,700市町村 (1,655市町村)

短期 アウトカム

乳児家庭全戸訪問事業を実施している市町村数

中期 アウトカム

乳児家庭全戸訪問事業の訪問対象家庭に対する訪問率の増加

長期 アウトカム

子育ての孤立化の防止や健やかに育成できる環境整備

EBPM指標

目標

こども・若者の権利保障と
その視点の尊重、意見聴取と対話

良好な成育環境の提供

すべてのこども・若者の
健やかな成長の保障

結婚・子育てに関する希望の形成と
その実現を阻む隘路の打破

こども・若者の幸福な生活 / 少子化トレンドを大きく変える / 未来を担う人材の育み